

令和4年度 第3回横浜市教科書取扱審議会 会議録

日 時	令和4年7月19日(火) 13時30分から15時00分まで
開催場所	東部学校教育事務所研修室B
出席者	(1) 学識経験のある者(3名) 井上 健、橋谷 由紀、泉 真由子 (2) 児童及び生徒の保護者(4名) 青柳 寛子、竹原 浩太郎、菅野 陽子、東 隆幸 (3) 校長及び教員(7名) 安富 江理、増田 昌浩、星野 浩、中川 修一、 森 康昭、前田 智子、小滝 愛子 (4) 教育委員会事務局職員(4名) 櫻井 千寿、小島 孝道、古田 彩乃、片桐 大樹
欠席者	西口 公恵、齋藤 陽子
開催形態	非公開
議 題	1 前回会議録の確認 2 高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の 答申案について 3 答申文について
決定事項	1 第2回審議会会議録を確定すること。会議録は採択終了後まで非公開とすること。 2 第3回の審議会会議録について、確認は会長に一任すること。 3 高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の 答申案を答申として確定すること。 4 答申文を確定すること。 以上4点について、決定した。
議 事	1 議題1について 第2回審議会会議録について、内容の確認を行い、委員の了承を得た。また、 会議録は採択終了まで非公開とすることが了承された。第3回審議会会議録に ついては、委員の了承の下、内容の確認は会長に一任された。 2 議題2について 議事に入る前に、前回、井上会長から質問のあった高等学校に意見報告書の 確認・再提出を求めた事例の有無及びその内容について、幹事から説明があっ た。 また、特別支援学校及び個別支援学級の意見報告書について、幹事から、前

回説明した内容の補足説明があった。

幹事から、高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申案について説明があり、答申として確定することが了承された。

(橋谷委員)

高等学校について詳しい説明をいただいた。高等学校は、答申に書かれているとおり、教育の理念や学校の特色、生徒の実態など、本当に様々である。その中で、今日、事務局から示してもらった、本当に学校に合ったものを、校長が、学校の特色・生徒の実態にあったものを選んでいくということが、本当に実感としてよく分かって、この答申案で良いと思った。

3 議題3について

幹事から、答申文案について説明があり、了承された。

(橋谷委員)

一昨年から参加しているが、毎回、子どもたちや教育にとって大切な教科書について、慎重・丁寧に調査していることに感謝している。

今年は、高校の新しい教科書が沢山出ており、その中から選定するのは大変だったと思う。教科書は大切なものなので、教員養成をする立場にいる身としては、良い人材を教員にしたいと思っているが、教員が大変だとか言われている中で、この大変な作業の価値も理解しつつ、現場で勤めている先生が子どもに向かう時間を確保することも大切だと思っている。2回目の審議会の時に質問したが、どちらも大切なものだと思う。

こうして選ばれた教科書を使って、自分が勤める学校を卒業して教員になった人たちも、今、横浜で沢山お世話になっているが、その教員が価値ある教育活動ができること、尚且つ、子どもと向き合う時間が沢山あることなどを考えながら、とても複雑な気持ちで審議会に参加した。現場の先生、調査員の先生、事務局の皆さんも、子どもの幸せを考えながら教科書の選定に取り組んでもらっていて、本当に素晴らしいと思った。

(泉委員)

今年度から初めて参加したが、橋谷委員と同じ感想だ。こんなに丁寧に、公正さを大事にしながら、膨大な量の教科書を、膨大な資料を作成して調査・審議して選定していることに大変感謝したい。

私は、専門は特別支援教育だが、特別支援教育の教科書の選び方を見ていると、現場の先生方、担任の先生方が、一人ひとりの子どもたちの顔を思い浮かべながら、どんな風に使ってほしいかということを考えながら選定していることがよく分かった。

こういった会議についての資料や会議録の公開によって、少しでもその過程が市民に知られることで、市民の教育に対する見方も変わってくるのかなというように、少し考えながら参加させていただいた。

(青柳委員)

今年度初めて参加したが、両名の先生方と同じように、こんなに丁寧に、膨大な量の教科書の中から選定してもらい、書類の作成も大変なことと思うが、子どもたちのために、本当にありがたいと思った。

自分の子どもに、もう少し、教科書を大切にしなさいときちんと教育したいと思った。

(竹原委員)

中学校生徒の保護者代表として、私も初めての参加になるが、一つ一つの教科書を細かく見てもらっていることに感謝する。どの校種もそうだと思うが、特別支援学校の一人ひとりに合った教科書をイメージしながら選んでいることに、まずは一番の驚きがあり、そこは、小学校も中学校も高校も同じだと思うが、そういった気持ちで選んでもらっているということと、学校側の先生の意見と調査員の意見と、複数の意見で、しっかり見てもらっていることに安心感をもった。

大変な作業だと思うが、今後も工夫して引き続き行ってもらえば、保護者としてはありがたいと思った。

(菅野委員)

高等学校保護者として参加した。自分の子どもの学校の校長先生が作成した意見報告書も見たが、その中で、こういったことを学ばせたいからこの教科書を選んだという学校の思いを具体的に知ることができ、本当に感謝の気持ちになった。その思いを汲んで、その教科書を活用し、自分の子どもに教科書を使いこなしなさいと帰ったら伝えたいと思った。

(東委員)

特別支援学校の保護者として参加し2年目だが、昨年度、緻密に先生方が調査し、さらに、それを使う側としても、子どもたちのために、とても細やかな配慮がされており、本当に感心した。

質問だが、例えば、選定参考一覧である教科でこの本が推奨されていて、それを別の教科で使いたいとなった場合、別の書式で申請し直す必要があると伺った。私の子どもも特別支援学校でほぼ1対1というか、一人ひとりの成長に合わせて、教科書を選んでくれていると思うが、例えば、学習が進んで、2学期になって、教科書を変えたいと考えた時に、それは、どのくらい臨機応変に変えることができるのか、その辺の流れがどうなっているのか。現場の先生に任せられているのか、それとも、その都度、また審議しなくてはならないのか、疑問としてあった。

感想としては、2年目で、前回より少し、理解したつもりである。

(外山幹事)

無償給与の教科書として、子どもに渡せる図書は各教科1冊ずつであるが、子どもは年間を通して成長していくので、教科等のねらいだとか、目的も少しずつ変わっていくことがある。その時には、副教材として他の図書を利用して指導するなどの工夫をしている。

(井上会長)

教科書は主たる教材の一つだが、教科書以外にも色々な教材を使って、授業等をしている。そういう面での柔軟さは持って、日々対応しているという答えだと思う。

(小滝委員)

病弱の浦舟特別支援学校から今年度初めて参加した。本校は、市外から来て入院した子どもたちに対しても、入院期間中に院内学級で学習指導をしている。市外から来た子どもの場合は、前籍校で使っていた教科書も参考にしながら学習指導を行う。横浜市の教科書と他で使われている教科書とを見比べながらポイントを押さえて、学習指導している。現場の教員は、日々、教科書を見比べながら学習指導をしている状況で、教科書が常に身近にある学校なので、今回、教科書が慎重に審議されて決められているということが分かり、私自身も大変勉強になった。

(前田委員)

横浜総合高校の副校長をしており、今回、初めて参加させていただき、色々学ばせてもらった。本校は、3部制の定時制で、本来ならば、個別支援学級のように、色々な個性を持った子どもが沢山いる。個別支援学級のように、一人ひとりの個性にあった教科書を選ぶ方がいいと思うが、約1,000人の生徒がいるため、先生方が苦勞して、選んでいるのが現実である。その中で、学習の質も落とさないように、選んだ教科書をしっかり使いながら、生徒一人ひとりに教えていくように、これから学校でも努力していきたい。

(森委員)

中学校の副校長として参加した。私自身、少し前まで、教室で授業をしていたので、今回参加して、色々教科書を見たり、自分の専門の教科的な視点で、意見書や教科書を見させていただいたりした。教科書は、どの出版社も非常に詳しく分かりやすく、尚且つ、探求的な視点が盛り込まれていて、それだけを見て選ぶというのは、非常に難しいなと感じた。それ故、どういう視点で選んだらいいのかということ、横浜市の政策や学校の特色などを踏まえて、きちんと最初から見定めていることや、それをこうした段取りで毎回確認していくことの大切さをすごく感じた。とても勉強になった。

(中川委員)

ろう特別支援学校の校長なので、審議をしていただく当事者として意見報告書も出しているし、委員としては初めて参加したが、以前、幹事としてこの審議会に参加したことがある。特別支援学校と個別支援学級については、毎年審議しており、個別支援学級では、小・中・義務教育学校約500校ある中で、各校何十名もの児童生徒がおり、そのため、相当の数の報告書を、1枚1枚幹事が全て目を通して、手をかけて選ぶという非常に大変なプロセスを踏んでいる。確かに、教員一人ひとりは大変な部分もあると思うが、そういう作業を通じて、改めて日常に埋もれてしまいがちな部分を再確認するというような部分もあり、少し大変ではあるが、大事な作業だと思う。私自身、ずっと特別支援教育に携わっており、幅広い子どもたちが在籍している中で、一人ひとりにあった教科書を選ぶこの制度はありがたいと思っている。

(星野委員)

桜丘高校校長です。前回、教科書を選ぶ作業は、大変だと言ったが、今、特別支援学校からの話にもあったように、教科書を選ぶ作業は、大切な作業である。よく言われることだが、教科書を教えるのではなく、教科書を使ってどの

ように教えるかということ。選んで、それを使い、教えながら、新たに生徒の実態や教科書が扱っている題材・内容だとかを色々と吟味しながら、次の年につなげていく。また、生徒の実態も世の中の流れも毎年同じという訳ではないので、色々と見比べながら毎年選定することは、授業を進めるうえでとても大切なことである。今回は、高校の教科書と特別支援の教科書を審議したが、また、心を引き締めて頑張っていく。

(安富委員)

三保小学校の校長です。本校にも 42 名の個別支援級の子どもがおり、一人ひとりに応じた教育ということで、教員が子どもたちをしっかりと見て、教科書を選んでいる。保護者と相談しながら、子どもたちの支援計画に則って授業を進めていくうえで、教科書の選択は欠かせないものだと思っている。教員自身も、力を付けていく良い機会だと捉えている。

中学校の個別支援学級、高等学校、特別支援学校の教科書についても、子どもたちや学校に合わせて、教科書を選択しており、そのことは、子どもたちにとって何が一番よいのかということ、私たち教員が追求していく、ここに集ってくださる皆さんで検討していくことによって、かけがえのない子どもたちに、しっかりと生きる力をつけていくというところで、最も大事な会だと思っている。委員として3年目でその重要さが年を追うごとに分かってきた。学校でも、しっかりと子どもたちに力を付けていきたいと思っている。

(櫻井委員)

指導主事として、教科書をどのように採択していくかという手順については、知識はあったが、今年度、委員として初めて関わることになった中で、本当に、多くの方が関わり、その中で、丁寧に審議をされた教科書ということを感じることができた。私のいる部署が教育課程推進室ということで、教育課程に係る部分ではあるが、このように選ばれた教科書がどのように子どもたちの資質・能力を育んでいくのかという視点をしっかりとって、今後の業務に活かしていきたいと思った。個人的には、特別支援教育の教科書をじっくり拝見する機会は今までなかった。中でも弱視のお子さん用のボランティア手書きの拡大教科書などを多くの方々の力添えで作っているということ、児童生徒の実態を踏まえて、一人ひとりの学びを保障するために、本当に多くの方が関わっているということを実感して、今後の業務に活かしていきたいと思った。

(小島委員)

私は、所管が高校なので、高校視点でお話すると、採択の観点にあるように、学校の特色・実態に応じて、各学校長が深く検討して、意見報告書を作成していること。そのことを自分自身でも深く実感した。その点でいうと、採択の観点に基づいた答申が今年度もできたのではないかと自負している。

また、高校の教科書は、各教科・各科目に多くの教科書があり、それぞれ、主体的に考えたり、学んだりできる、仕掛けが多くある。その中で、各学校は色々なことを考え、選定している。

この教科書の内容をまるまる覚えるのではなく、採択された教科書を有効に活用して、各学校の特色、育てたい生徒像、育成したい資質・能力、それをより伸ばしていける。そういった教育を実践してもらいたい。そのように感じた。私は、この立場として、学校を指導・支援していきたいと改めて思った。

(古田委員)

私は、2年目になるので、昨年度と重なる部分はあるかとは思いますが、教科書を決めるのに、子ども一人ひとり、学校の実態と目標に応じて選んでいることを改めて知った。どの学校においても、子どもを出発点にして決められているということ、そして、どの教科書を、どのように使うかということ、つまり授業づくりについて、子どもを出発点に考え、どのように教科書を使いながら、授業をしていくのか、ということをしっかり考えることが大事だと改めて感じた。これからも、学校教育事務所の業務である学校支援に活かしていきたい。

(片桐委員)

方面別学校教育事務所の指導主事なので、小・中学校には、訪問という形で入ることが多いが、入って感じることは、経験の浅い教員が少なくないということ。

だからこそ、教科書は、授業づくりや授業研究でとても重要であると改めて感じた。今年度初めて参加し、教科書が子どもたちの実態、学校の特色に応じて選ばれていることがよく分かった。自分も、経験が浅い先生だけでなく、全ての先生方が、そういう過程で選ばれた教科書を、効果的に、授業づくりや授業実践に活用できるよう支援していきたい。

(増田副会長)

本審議会が第3回まで終了して安堵した。審議会の中で、教科書調査員や学校から提出された資料などをもとに答申の作成に向けてのポイントを幹事から説明してもらって、審議会委員が意見をまとめていく。その決議に対しては、

非常に社会的に影響を与える場合もあり、大きな責任を負うのがこの審議会だ
と思う。そういう意味では、この第3回をスムーズに終えて、答申が出された
ことに安堵している。

学校は、教科書が決まった後がまた大変である。教科書は、主たる教材であ
り、今の教科書はカラフルだったり、見やすくなったり、非常に工夫されてい
る。面白味も加わって、デザインの的にも変わってきているが、それを子どもた
ちにどう教えていくかという、教科書を開いて教えるというだけではない。
実際には、指導書や解説を見て自分のものにするには1～2年間位使いこなさ
ないと難しい。教科書採択が一つの始まりだと思うが、学校としては、決まっ
た教科書を活用して、子どもたちに還元していきたい。

(井上会長)

それぞれのお立場からの貴重なご意見をありがとうございました。

本審議会は、教科書取扱審議会なので、教科書採択に関わるプロセス、公正
な審議の在り方ということについて検討していくという場であるが、単に教科
書の取扱いという枠を超えた、横浜の教育全体に対して、皆様からの様々なお
話をいただいた。

幹事には、今回いただいた貴重な御意見を次年度以降の審議会に反映してい
ってもらいたい。

<p>資 料 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度第3回横浜市教科書取扱審議会次第 (2) 令和4年度第3回横浜市教科書取扱審議会資料 (3) 令和4年度 教科書採択手順 (4) 令和5年度使用教科書の採択事務処理について（文部科学省からの通知） (5) 小学校用教科書目録 (6) 中学校用教科書目録 (7) 高等学校用教科書目録 (8) 高等学校学習指導要領の改訂のポイント (9) 高等学校用教科用図書調査員報告書 (10) 高等学校用教科用図書意見報告書 (11) 高等学校用教科用図書 答申（案） (12) 高等学校 説明資料（意見報告書と調査員報告書） (13) 教科書目録（特別支援学校用（小・中学部）） (14) 令和5年度教科用図書選定参考一覧 (15) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科用図書 調査員報告書 (16) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科用図書 答申（案） (17) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科用図書 答申（案）説明資料（調査員報告書、意見報告書（抜粋）、答申（案）検討資 料） (18) 答申文（案） <p>2 特記事項</p> <p>審議内容及び審議資料については、採択が終了するまでは非公開とする。</p>
-----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------